

まなべ「熱中時代」 (最終号)

元気と夢を育む真鍋小学校

学校だより 令和5年3月15日
土浦市立真鍋小学校(小中一貫校)
文責 酒井 宏之



卒業式 心を込めて・・・

いよいよ17日(金)は卒業式。私は、卒業式が多くの学校行事の中で、1番大切な行事と考えています。卒業式は6年間の集大成です。卒業式には全力で取り組みたいと思っています。6年生のみなさんは、登校や縦割り班活動、委員会やクラブ活動等々、下級生のリーダーとして活躍してくれました。皆さんのよい思い出を残してくれました。4～5月にかけて、6年生全員とグループごとに校長室で、皆さんの話をしました。将来のこと、趣味のこと、家族や友達のこと等々・・・笑顔いっぱい楽しい話をしてくれました。6年生全員と話ができ、かけがえない時間となりました。5月、小学校最後のスポーツフェスティバルでした。6年生のみなさんは、伝統の「真鍋ソラン」を披露してくれました。校庭中に響き渡る大きな声、全員が心を一つにして一生懸命踊る姿・・・6年生のみなさんの熱い思いに感動しました。11月、日光方面への修学旅行でした。今年は、念願の泊まりがけでの修学旅行が実施できました。6年生のみなさんと寝食を共にした2日間は、宝物となりました。これから6年生のみなさんは、進学や就職など、それぞれの道を進んでいくと思いますが、自分を信じ、夢を実現して欲しいと思います。真鍋小学校の先生方はいつでもみなさんを応援しています。そして、17日(金)の卒業式は、真鍋小学校の先生方全員で、心を込めて6年生を送り出したいと思います。「卒業 おめでとう。」



6年生を送る会 たくさんの思い出をありがとう!

3月7日(火)、6年間を過ごした小学校生活を振り返り、在校生と共に楽しいひとときを過ごす、子供たちの卒業式、「6年生を送る会」が実施されました。体育館には6年生と5年生、そして発表学年が入れ替わりで入り、他の学年はリモートでの参加となりました。それぞれの学年が、合唱・ダンス・クイズ等々、趣向を凝らしたメッセージを発表しました。また、手作りのプレゼントもありました。子供たちの心のこもった楽しい会となりました。在校生は、6年生への感謝と新たな門出への祝福を伝えることができました。特に5年生は、送る会の企画・運営の中心として、全力で準備にあたってくれました。体育館の壁の桜や装飾もかざりプロジェクトの子供たちが中心となり、一生懸命作成してくれました。在校生のみなさん、素晴らしい会をありがとうございました。



校長室より

まなべ「熱中時代」

ありがとうございました

私事になりますが、この3月をもって38年間の教員生活を閉じます。児童や保護者の皆様、そして地域の皆様には大変お世話になりました。私が教師になった理由は2つあります。1つ目は、中学生の時の恩師との出会いでした。それは、部活の顧問の先生で社会科の先生でした。その先生は、正に剣道の達人で、当時中学生だった私は全く歯が立ちませんでした。また、その先生の歴史の授業は、まるで歴史のドラマを見ているような楽しい授業でした。その先生にあらがれ、教師を志しました。2つ目は、今から40年くらい前に、水谷豊さん主演のTVドラマ「熱中時代」が放映されました。水谷豊さんが演じる新任小学校教師「北野広大先生」と子供たちのふれあいを描いたドラマでした。当時まだ高校生で純粋?だった私は、このドラマに感動し、教師になることを決意しました。今思えば、ドラマに感動して教師を志すことは単純だったと思います。そして、教師になって以来、私が発行した学級だよりや学年、学校だよりは、全て「熱中時代」というタイトルでした。38年間の教員生活は、「熱中時代」のドラマのような感動ばかりではありませんでしたが、たくさんの子供たちや先生方と出会い、充実した、楽しい日々でした。そして、教員生活の最後の2年間を母校の真鍋小学校で過ごすことができたこと、何よりも幸せだったと思います。長い間お世話になりました。これからは地域住民として、真鍋小学校をずっと見守っていきたいと思います。ありがとうございました。

